

予算特別委員会資料

令和5年度予算説明書

交通局

目 次

○ 令和5年度予算編成方針	1
I. 令和5年度予算の概要	
< 自動車事業会計 >	2
< 高速鉄道事業会計 >	12
1 業務の予定量	3
1 業務の予定量	13
(1) 運転計画表	3
(1) 運転計画表	13
(2) 建設改良事業の概要	3
(2) 建設改良事業の概要	13
2 収入支出一覧	4
2 収入支出一覧	14
(1) 収益的収入及び支出	4
(1) 収益的収入及び支出	14
(2) 資本的収入及び支出	4
(2) 資本的収入及び支出	14
3 予算実施計画	5
3 予算実施計画	15
(1) 収益的収入及び支出	5
(1) 収益的収入及び支出	15
(2) 資本的収入及び支出	7
(2) 資本的収入及び支出	17
4 債務負担行為	9
4 債務負担行為	19
5 企業債	9
5 企業債	19
6 一時借入金	9
6 一時借入金	19
7 他会計からの補助金	9
7 他会計からの補助金	19
8 たな卸資産の購入限度額	9
8 たな卸資産の購入限度額	19
(参考)	(参考)
令和5年度予定キャッシュ・フロー計算書	10
令和5年度予定キャッシュ・フロー計算書	20
令和5年度予定貸借対照表	11
令和5年度予定貸借対照表	21
II. 令和5年度主要事業	22

令和5年度予算編成方針

本市の交通事業は、市民の日常生活や経済活動に必要な不可欠な生活基盤としての役割を担い、その整備・充実に努めてきた。しかしながら、少子高齢化の進展、人口減少傾向の継続、施設の老朽化などに加え、地震や集中豪雨等の大規模災害の頻発、新たな感染症の拡大、ICT等の技術革新の進展など、公共交通を取り巻く環境が大きく変化しており、その中でも、市民に必要とされる公共交通であり続けるために、「市民の足」としての役割を積極的に果たすなど、神戸のひとの暮らしとまちの発展を支えていくことが求められている。

そのため、公営交通としての役割と企業としての経済性の両立を果たすべく、厳しい経営環境、財政状況の中において「市民の足」を持続的に提供していくため、公営交通を将来にわたり安定的に運営していけるよう、今後の事業環境や課題を踏まえた経営方針や事業戦略、財政計画を定めた「神戸市営交通事業 経営計画 2025」を令和3年度に策定し、経営改善に取り組んでいるところである。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響による新しい生活様式の浸透により、市バス・地下鉄の利用者の減少は一定定着してきており、新型コロナウイルス感染症の発生以前と比べて、大幅な減収となっている。加えて、昨今の著しい原油価格の高騰の影響もあり、今後も極めて厳しい経営状況が続くものと見込んでいる。

令和5年度予算においても、引き続き、経営計画の基本的な考え方である「安全・安心の確保」、「快適なサービスの提供」という公共交通機関としての使命を果たし、公営交通事業に求められる「市民の足の確保」を通じて、神戸市営だからこその意義・役割である「神戸のまちづくりに貢献」するため、経営計画で掲げた施策を着実に遂行するとともに、「安定的な経営基盤を確立」すべく、さらなる経営改善に取り組む。

また、職員一人ひとりが「高いコンプライアンス意識」と「チャレンジ精神」を持ちながら、未来に向けて新たに挑戦していくことで、「神戸の市民生活やまちの発展に貢献」していく。

I . 令和5年度予算の概要

〈自動車事業会計〉

1 業務の予定量

(1) 運転計画表

区 分	年 間	1 日 平 均	備 考
乗 車 人 員	54,440,798 人	148,747 人	敬老・福祉乗車人員等を含む
乗 車 料 収 入	8,911,523,000 円	24,348,423 円	敬老・福祉乗車負担金等を含む
運 転 走 行 キ ロ	16,406,609 km	44,827 km	
走 行 1 キ ロ 当 り 乗 車 人 員	3.32人		
走 行 1 キ ロ 当 り 乗 車 料 収 入	543円17銭		
1 人 平 均 乗 車 料 収 入	163円69銭		
在 籍 車 両 数	487両		
1 日 平 均 運 転 車 両 数	442両		
乗 務 員 数	運転士259人		

(2) 建設改良事業の概要

事 業 名	概 要	事 業 費
バス車両購入	路線バス購入	千円 572,352
工具器具備品 購 入	車両整備用器具購入	7,879
建物建設工事	バス停留所設置工事等	201,313
車両改良工事	ドライブレコーダー更新等	42,970
建物改良工事	営業所改修工事等	145,037
機械装置 改 良 工 事	排水処理機更新工事等	280,094
合 計		1,249,645

2 収入支出一覧

(1) 収益的収入及び支出

(単位：千円)

収 入			支 出		
款	項	金 額	款	項	金 額
1 自動車 事業収益		10,735,652	1 自動車 事業費		11,678,188
	1 営業収益	9,378,984		1 営業費用	11,387,560
	2 営業外収益	1,356,668		2 営業外費用	190,628
			3 予備費	100,000	

(注) 当年度純損益(税抜)は△1,035,900千円、累積損益は△5,137,420千円となる。

(2) 資本的収入及び支出

(単位：千円)

収 入			支 出		
款	項	金 額	款	項	金 額
1 資本的収入		1,590,551	1 資本的支出		1,742,333
	1 企業債	1,058,000		1 建設改良費	1,249,645
	2 補助金	191,483		2 企業債償還金	391,560
	3 他会計繰入金	339,940		3 投資	1,128
	4 財産収入	1,128	4 予備費	100,000	

(注) 資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額151,782千円は、
損益勘定留保資金等で補てんするものとする。

3 予算実施計画

(1) 収益的収入及び支出

①収入

款	項	目	予 定 額	説 明
1 自動車事業収益			千円	
			10,735,652	
		1 営業収益	9,378,984	※参考
		1 運輸収入	7,313,301	乗車料金 敬老・福祉乗車負担金等 広告料等
		2 他会計負担金	1,772,222	
		3 運輸雑収入	293,461	
		2 営業外収益	1,356,668	
		1 受取利息及配当金	5	預金利息
		2 県補助金	6,420	運輸事業振興助成補助金
		3 他会計補助金	1,273,016	自動車事業運営のための他会計補助金
		4 長期前受金戻入	12,401	減価償却等に対応する長期前受金の収益化
		5 他会計繰入金	4,200	交通事業基金運用益の繰入金
		6 雑収入	60,626	負担金収入等

※参考

年 間

1 日平均

乗 車 人 員

54,441千人

148,747人

乗 車 料 収 入

8,911,523千円

24,348千円

1 人平均乗車料収入

163円69銭

②支 出

款	項	目	予 定 額	説 明	
1 自動車事業費	1 営業費用		千円		
			11,678,188		
			11,387,560		
		1 建物保存費	37,578	建物の維持補修に必要な費用	
		2 車両保存費	961,724	車両の維持補修に必要な費用	
		3 運 転 費	8,905,114	運転に必要な費用	
		4 運輸管理費	653,770	運輸管理に必要な費用	
		5 一般管理費	305,425	一般管理に必要な費用	
		6 減価償却費	523,949	固定資産減価償却費	
			2 営業外費用	190,628	
			1 支払利息及 企業債諸費	85,103	企業債等の支払利息及び諸手数料
	2 消 費 税	105,525	消費税及び地方消費税納付額		
	3 予 備 費	100,000			
	1 予 備 費	100,000			

給与費内訳

職員443人（短時間勤務職員42人を含む）の報酬52,860千円、給料 1,366,597千円、
手当等 1,208,286千円、法定福利費 591,603千円を計上

(2) 資本的収入及び支出

①収 入

款	項	目	予 定 額	説 明
1 資本的収入			千円	
			1,590,551	
	1 企 業 債		1,058,000	
		1 企 業 債	1,058,000	建設改良費に充当する企業債
	2 補 助 金		191,483	
		1 他会計補助金	191,483	バス上屋建設のための一般会計補助金
	3 他会計繰入金		339,940	
		1 他会計繰入金	339,940	高速鉄道事業会計からの繰入金
	4 財 産 収 入		1,128	
		1 財 産 収 入	1,128	資産売却代等

②支 出

款	項	目	予 定 額	説 明
1 資 本 的 支 出			千円	
			1,742,333	
	1 建設改良費		1,249,645	
		1 建設費	781,544	バス停留所設置工事等
		2 改良費	468,101	バス車両関連設備の更新等
	2 企業債償還金		391,560	
		1 企業債償還金	338,560	企業債元金償還金
		2 資本費平準化債償還金	53,000	資本費平準化債元金償還金
	3 投資		1,128	
		1 投資	1,128	自動車リサイクル料金の預託
4 予備費		100,000		
	1 予備費	100,000		

4 債務負担行為

事 項	期 間	限 度 額
自動車事業修繕等 (令和5年度)	令和5～6年度	30,000千円
自動車事業建設 (令和5年度)	令和5～7年度	1,758,000千円

5 企業債

起債の目的	限度額	起債の方法	利率	償還の方法
自動車事業	千円 1,058,000	公債証券の発行 又は消費貸借の 方法により、借 り入れる（他の 地方公共団体と の共同発行を含 む。）。	9%以内 (ただし、利 率見直し方式 で借り入れる 資金につい て、利率の見 直しを行った 後において は、当該見直 し後の利率)	借入日の翌日から据置期間を 含め、30年以内に毎年度元利 均等その他の方法により償還 する。ただし、財政上の都合 等により定額以上を償還し、 又は借り換えることができる。 政府資金を借り入れる場 合は、その融資条件による。
特別減収対策	1,008,000			
合 計	2,066,000			

6 一時借入金

借入限度額 4,500,000 千円

7 他会計からの補助金 1,464,499 千円

8 たな卸資産の購入限度額 15,000 千円

(参考)

令和5年度神戸市自動車事業会計予定キャッシュ・フロー計算書

(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

(単位：千円)

1	業務活動によるキャッシュ・フロー	
	当年度純損失	△ 1,035,900
	減価償却費	523,949
	退職給付引当金の増減額	△ 466,742
	賞与・法定福利費引当金の増減額	△ 17,011
	長期前受金戻入	△ 12,401
	受取利息及び受取配当金	△ 5
	支払利息	73,606
	長期預り金増減額	△ 13,654
	固定資産除却損	25,940
	未収金の増減額	1,789
	未払金の増減額	177,267
	前受金の増減額	△ 71,210
	預り金の増減額	△ 3,518
	消費税資本的収支調整額	122,693
	小計	<u>△ 695,197</u>
	利息及び配当金の受取額	5
	利息の支払額	<u>△ 73,606</u>
	業務活動によるキャッシュ・フロー	△ 768,798
2	投資活動によるキャッシュ・フロー	
	固定資産の取得による支出	△ 1,349,645
	財産収入による収入	<u>191,483</u>
	投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,158,162
3	財務活動によるキャッシュ・フロー	
	建設改良費等の財源に充てる企業債収入	1,058,000
	建設改良費等の財源に充てた企業債償還	△ 391,560
	特別減収対策企業債発行による企業債収入	1,008,000
	一時借入による収入	4,500,000
	一時借入金の返済による支出	△ 4,500,000
	他会計繰入金による収入	<u>339,940</u>
	財務活動によるキャッシュ・フロー	2,014,380
	資金増加額	87,420
	資金期首残高	3,280,664
	資金期末残高	3,368,084

令和5年度神戸市自動車事業会計予定貸借対照表

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
	千円		千円
固 定 資 産	18,161,167	固 定 負 債	12,772,583
運送施設有形固定資産	35,207,684	企 業 債	10,432,384
減 価 償 却 累 計 額	△ 17,184,958	引当金(退職給付引当金)	2,267,768
計	18,022,726	そ の 他 固 定 負 債	72,431
関連施設有形固定資産	211,209	流 動 負 債	7,935,854
減 価 償 却 累 計 額	△ 111,517	一 時 借 入 金	4,500,000
計	99,692	企 業 債	622,060
運送施設無形固定資産	10,669	未 払 金	1,811,233
関連施設無形固定資産	3,025	前 受 金	733,681
投 資	25,055	預 り 金	17,289
流 動 資 産	5,595,378	引当金(賞与等引当金)	226,040
現 金 預 金	3,368,084	そ の 他 流 動 負 債	25,551
未 収 金	2,205,938	繰 延 収 益	438,985
貯 蔵 品	21,356	長 期 前 受 金	2,612,895
		収 益 化 累 計 額	△ 2,173,910
		資 本 金	4,895,029
		剰 余 金	△ 2,285,906
		資 本 剰 余 金	2,851,514
		利 益 剰 余 金	△ 5,137,420
		未 処 分 利 益 剰 余 金	△ 5,137,420
合 計	23,756,545	合 計	23,756,545

I . 令和5年度予算の概要

〈高速鉄道事業会計〉

1 業務の予定量

(1) 運転計画表

区 分	年 間	1 日 平 均	備 考
乗 車 人 員	103,103,664 人	281,704 人	敬老・福祉乗車人員等を含む
乗 車 料 収 入	19,007,425,000 円	51,932,855 円	敬老・福祉乗車負担金等を含む
運 転 走 行 キ ロ	22,379,103 km	61,145 km	
走行1キロ当り 乗 車 人 員	4.61人		
走行1キロ当り 乗 車 料 収 入	849円34銭		
1 人 平 均 乗 車 料 収 入	184円35銭		
在 籍 車 両 数	250両		
1 日 平 均 運 転 車 両 数	183両		
列 車 編 成	(西神・山手・北神線) 6両編成	(海岸線) 4両編成	
乗 務 員 数	運転士112人 車掌52人		

(2) 建設改良事業の概要

事 業 名	概 要	事 業 費
高 速 鉄 道 建 設	可動式ホーム柵設置工事、新長田駅大規模改修工事、北神線増備車製造、板宿駅大規模改修工事、ワンマン化対応改修、駅務機器更新費用、総係費等	千円 18,681,732
付 帯 事 業 建 設	西神中央百貨店ビル外壁改修工事、駅ビル設備改修工事、ほか関連事業施設改修等	864,347
合 計		19,546,079

2 収入支出一覧

(1) 収益的収入及び支出

(単位：千円)

収 入			支 出		
款	項	金 額	款	項	金 額
1	高速鉄道 事業収益	25,871,643	1	高速鉄道 事業費	30,183,906
	1 営業収益	21,466,523		1 営業費用	28,025,687
	2 営業外収益	4,405,120		2 営業外費用	2,058,219
				3 予備費	100,000

(注) 当年度純損益(税抜)は5,391,982千円、累積損益は91,250,473千円となる。

(2) 資本的収入及び支出

(単位：千円)

収 入			支 出		
款	項	金 額	款	項	金 額
1	資本的収入	23,298,162	1	資本的支出	33,689,979
	1 企業債	15,018,000		1 建設改良費	19,546,079
	2 出資金	3,713,000		2 企業債償還金	12,971,581
	3 補助金	4,048,783		3 投資	350,379
	4 財産収入	19,380		4 保証金返還金	108,000
	5 基金繰入金	108,000		5 他会計繰出金	513,940
	6 雑収入	390,999		6 予備費	200,000

(注) 資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額1,037,680千円は、損益勘定留保資金等で補てんするものとする。

3 予算実施計画

(1) 収益的收入及び支出

①収 入

款	項	目	予 定 額	説 明
1 高速鉄道事業収益	1 営業収益		千円	
			25,871,643	
			21,466,523	※参考
		1 運輸収入	17,406,340	乗車料金
		2 他会計負担金	2,101,085	敬老・福祉乗車負担金等
		3 運輸雑収入	1,156,653	広告料等
		4 付帯事業収入	802,445	土地物件貸付料
		2 営業外収益	4,405,120	
		1 受取利息及配当金	0	預金利息
		2 他会計補助金	2,329,672	高速鉄道事業運営のための一般会計補助金
		3 長期前受金戻入	2,041,435	減価償却等に対応する長期前受金の収益化
4 基金繰入金	4,000			
5 雑収入	30,013			

※参考

年 間

1 日平均

乗 車 人 員 103,104千人 281,704人

乗 車 料 収 入 19,007,425千円 51,933千円

1 人平均乗車料収入 184円35銭

②支 出

款	項	目	予 定 額	説 明
1 高速鉄道事業費	1 営業費用		千円	
			30,183,906	
			28,025,687	
		1 線路保存費	1,044,153	線路施設等の維持補修に必要な費用
		2 電路保存費	1,118,083	電路施設の維持補修に必要な費用
		3 車両保存費	1,252,755	車両の維持補修に必要な費用
		4 運 転 費	4,983,674	運転に必要な費用
		5 運 輸 費	2,723,071	駅務に必要な費用
		6 運 輸 管 理 費	3,360,067	運輸管理に必要な費用
		7 一 般 管 理 費	1,248,817	一般管理に必要な費用
		8 減 価 償 却 費	12,295,067	固定資産減価償却費
			2,058,219	
			2,054,219	企業債の支払利息及び諸手数料
			4,000	自動車事業会計への繰出金
			100,000	
	100,000			

給与費内訳

職員643人（短時間勤務職員32人を含む）の報酬 38,961千円、給料 2,269,591千円、手当等 2,691,608千円、法定福利費 1,032,482千円を計上

(2) 資本的収入及び支出

①収 入

款	項	目	予 定 額	説 明
			千円	
1 資本的収入			23,298,162	
	1 企業債		15,018,000	
		1 企業債	14,503,000	建設改良費に充当する企業債
		2 特例債	515,000	企業債支払利息の一部に充当する企業債
	2 出資金		3,713,000	
		1 他会計出資金	3,713,000	高速鉄道建設のための一般会計出資金
	3 補助金		4,048,783	
		1 他会計補助金	3,593,229	高速鉄道建設のための一般会計補助金
		2 国庫補助金	455,554	高速鉄道建設のための国庫補助金
	4 財産収入		19,380	
		1 基金収入	19,380	交通事業基金運用益
	5 基金繰入金		108,000	
		1 基金繰入金	108,000	保証金返還金等に充当する基金繰入金
	6 雑収入		390,999	
		1 保証金	330,999	駅ビル・駅構内店舗からの保証金
		2 その他	60,000	クレジットタッチ決済のためのカード会社負担金

②支 出

款	項	目	予 定 額	説 明
			千円	
1 資 本 的 支 出			33,689,979	
	1 建 設 改 良 費		19,546,079	
		1 用 地 費	0	鉄道用地等
		2 建 物 費	7,314,049	停車場建設費等
		3 線 路 設 備 費	308,187	土木工事費等
		4 電 路 設 備 費	1,846,763	電力線施設建設費等
		5 車 両 費	3,560,837	車両改良費
		6 機 械 装 置 費	5,477,091	停車場機械建設費等
		7 総 係 費	174,805	職員給与費等
		8 付 帯 事 業 建 設 費	864,347	駅ビル設備改修工事等
	2 企 業 債 償 還 金		12,971,581	
		1 企 業 債 償 還 金	8,761,830	
		2 特 例 債 償 還 金	1,547,980	
		3 資 本 費 負 担 緩 和 債 償 還 金	977,416	
		4 資 本 費 平 準 化 債 償 還 金	1,684,355	
	3 投 資		350,379	
		1 投 資	350,379	交通事業基金造成費
	4 保 証 金 返 還 金		108,000	
		1 保 証 金 返 還 金	108,000	駅ビル・駅構内店舗への保証金返還金
	5 他 会 計 繰 出 金		513,940	
		1 他 会 計 繰 出 金	513,940	自動車事業会計への繰出金
	6 予 備 費		200,000	
		1 予 備 費	200,000	

給与費内訳

職員13人の給料 54,202千円、手当等 96,036千円、法定福利費 23,723千円を計上

4 債務負担行為

事 項	期 間	限 度 額
高速鉄道事業修繕等 (令和5年度)	令和5～6年度	129,540千円
高速鉄道事業建設 (令和5年度)	令和5～8年度	11,667,034千円

5 企業債

起債の目的	限度額	起債の方法	利率	償還の方法
高速鉄道事業	千円 14,503,000	公債証券の発行 又は消費貸借の 方法により、借 り入れる（他の 地方公共団体と の共同発行を含 む。）。	9%以内 (ただし、利率見 直し方式で借り入 れる資金につい て、利率の見直し を行った後におい ては、当該見直し 後の利率)	借入日の翌日から据置期 間を含め、40年以内に毎 年度元利均等その他の方 法により償還する。ただ し、財政上の都合等によ り定額以上を償還し、又 は借り換えることができ る。政府資金を借り入れ る場合は、その融資条件 による。
特 例 債	515,000			
合 計	15,018,000			

6 一時借入金

借入限度額 15,000,000 千円

7 他会計からの補助金 6,422,901 千円

8 たな卸資産の購入限度額 200,000 千円

(参考)

令和5年度神戸市高速鉄道事業会計予定キャッシュ・フロー計算書

(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

	(単位：千円)
1 業務活動によるキャッシュ・フロー	
当年度純利益	△ 5,391,982
減価償却費	12,295,067
固定資産除却損	1,449,498
長期前受金戻入	△ 2,041,435
退職給付引当金の増減額	△ 412,620
賞与・法定福利費引当金の増減額	3,584
長期前受金収入	△ 2,892
受取利息及び受取配当金	—
支払利息	2,012,745
消費税資本的収支調整額	1,499,577
未収金の増減額	△ 475,391
未払金の増減額	925,197
小計	9,861,348
利息及び配当金の受取額	—
利息の支払額	△ 2,012,745
業務活動によるキャッシュ・フロー	7,848,603
2 投資活動によるキャッシュ・フロー	
固定資産の取得による支出	△ 19,746,079
固定資産の取得にかかる補助金収入	1,265,174
投資による支出	△ 350,379
財産収入による収入	19,380
基金繰入金による収入	108,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 18,643,904
3 財務活動によるキャッシュ・フロー	
一時借入による収入	—
一時借入の返済による支出	—
建設改良費等の財源に充てる企業債収入	15,018,000
建設改良費等の財源に充てた企業債償還	△ 12,971,581
出資金による収入	3,713,000
補助金による収入	2,783,609
雑収入による収入	330,999
保証金償還による支出	△ 108,000
他会計繰出金による支出	△ 513,940
財務活動によるキャッシュ・フロー	8,252,087
資金増加額	△ 2,543,214
資金期首残高	2,933,123
資金期末残高	389,909

令和5年度神戸市高速鉄道事業会計予定貸借対照表

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
	千円		千円
固 定 資 産	274,682,995	固 定 負 債	174,570,035
運送施設有形固定資産	563,460,786	企 業 債	166,243,653
減価償却累計額	△ 299,005,016	引当金(退職給付引当金)	5,695,424
計	264,455,770	そ の 他 固 定 負 債	2,630,958
付帯事業有形固定資産	16,503,990	流 動 負 債	24,140,643
減価償却累計額	△ 11,593,281	一 時 借 入 金	—
計	4,910,709	企 業 債	11,715,348
運送施設無形固定資産	685,302	未 払 金	8,855,488
投 資	4,631,214	前 受 金	1,588,849
流 動 資 産	11,387,615	預 り 金	1,440,469
現 金 預 金	389,909	引当金(賞与等引当金)	431,187
未 収 金	7,792,507	そ の 他 流 動 負 債	109,302
貯 蔵 品	204,824	繰 延 収 益	55,788,820
前 払 費 用	169	長 期 前 受 金	136,372,360
そ の 他 流 動 資 産	3,000,206	収 益 化 累 計 額	△ 80,583,540
		資 本 金	107,856,900
		剰 余 金	△ 76,285,788
		資 本 剰 余 金	14,964,685
		利 益 剰 余 金	△ 91,250,473
		未 処 分 利 益 剰 余 金	△ 91,250,473
合 計	286,070,610	合 計	286,070,610

Ⅱ. 令和5年度主要事業

〈自動車事業会計・高速鉄道事業会計〉

令和5年度主要事業

1. 安全・安心・信頼の確保

3,632,278千円

《安全運行の徹底／安全運行を支える基盤の構築》

(1) 再発防止に向けた研修・取り組み

「4.21 三宮重大事故」を過去のものとして風化させないため、毎年4月16日～5月15日を「市バス事故ゼロ・安全安心運転推進月間」に設定し、“4月21日を忘れない取り組み”を引き続き実施する。

令和4年度において、委託営業所も含めた全運転士に対して、当時の事故の状況をパネルや新聞記事等で展示した研修施設「安全の礎」での研修を実施した。引き続き、令和5年度においても、採用時や研修の機会等に積極的に活用することで、「二度と事故を起こさない」という意識を全ての職員に徹底する。

また、安全運行に関わる管理職等に加え、知見のある外部専門家で構成する安全対策会議において、事故分析や再発防止対策等について、多角的な視点での議論を行い、現場へフィードバックすることで、安全運行の徹底を図る。

上記、市バス運転士に対する取り組み（ソフト面）のほか、市バス車両に関する取り組み（ハード面）として、全車両へのバックカメラ設置を進めていくとともに、安全報告書に具体的に記載しホームページで公表することで、市民やお客様に対して「見える化」を図っていく。

(2) 市バス営業所における組織風土改革

市バス営業所において発生したハラスメント事案を受け、第三者の弁護士による調査や、より独立性の高い第三者調査委員会である「神戸市交通局市バス営業所における職場環境及び組織風土改善のための調査委員会」による調査に基づいて、職場環境に悪影響をもたらす不適切な行為の実態把握を行うとともに、営業所管理体制の強化や風通しのよい職場づくり等の取り組みを進めている。

令和4年度中には全職員を対象としたハラスメント研修を実施するほか、令和5年度は、第三者調査委員会の調査結果報告書や職場改善にむけた提言を踏まえ、さらなる組織風土改革の取り組むことにより、日本一の市バス営業所の実現を目指し、引き続き風通しの良い職場づくりを進めていく。

(令和4年度実施)

- ・本庁自動車部に直営3営業所を統括する部門を設置
- ・長期在籍者を中心に計画的な人事異動の実施
- ・交通局全職員に対するハラスメント研修の実施

(令和5年度実施)

- ・バス事業現場経験のある職員の営業所長への登用
- ・本庁営業所統括部門の中央営業所への移転
- ・女性運転士の採用・配置

- ・現場職員のキャリアプランの策定・実施
- ・営業所における職場環境の改善、時間外勤務の削減 など

(3) ドライブレコーダーの更新に合わせた安全運行に対する評価の実施

現在、ドライブレコーダーの順次更新を行っており、令和5年度は75台の更新を行う。ドライブレコーダーに搭載されている運転評価機能（デジタルタコグラフ）を使用した各市バス運転士の詳細な運転操作の把握と管理職等による添乗調査によって、安全運行に対する評価を実施する。

(4) 新型車両の導入

西神・山手線、北神線の車両全編成の更新を行うにあたり、令和5年度は旧北神車両分として1編成を更新することで、全車両の6000形（新型車両）への更新が完了する。

(5) 西神・山手線、北神線へのホームドア設置

駅ホームからの転落や車両との接触事故を防止するため事故の防止に有効なホームドアを、西神・山手線、北神線全駅に令和5年度末までに設置が完了する。

- ・令和3年度設置完了駅（3駅）
新長田駅・西神中央駅・名谷駅
- ・令和4年度設置完了予定駅（10駅）
新神戸駅・湊川公園駅・学園都市駅・板宿駅・西神南駅・
長田駅・大倉山駅・上沢駅・伊川谷駅・総合運動公園駅
- ・令和5年度設置完了予定駅（3駅）
県庁前駅・谷上駅・妙法寺駅

(6) 地下鉄駅施設のユニバーサル対応の推進

ユニバーサルデザインに配慮した駅施設になるように、令和5年度は湊川公園駅西口エレベーター設置工事を行うほか、妙法寺駅や上沢駅のエレベーターについて、バリアフリー基準に適合したエレベーターに更新を行う。

2. 快適で質の高いサービスの提供

519,631千円

《快適なサービスの提供／「わかりやすさ・使いやすさ」の提供・追求》

(1) 定期券購入の利便性向上

①定期券WEB予約サービスの導入・普及

お客様がパソコンやスマートフォンから新規定期券購入の予約を行い、自動定期券発売機で決済・発券できる「定期券WEB予約サービス」を令和5年3月8日に導入する。このサービスにより、お客様の新規定期券購入の利便性向上を図るとともに定期券発売所の混雑緩和を図っていく。

また、より多くのお客様に同サービスを使ってもらうために、市バス・地下鉄車内広告やトレインビジョン、デジタルサイネージでのPRのほか、市内高校・大学への案内送付をはじめ、広報紙 KOBE、インターネット広告なども活用して周知を図る。

②自動定期券発売機の新規設置・拡充

「定期券 WEB 予約サービス」をより多くの方にご利用いただくために、自動定期券発売機を令和5年3月までに地下鉄谷上駅に設置することで、地下鉄全駅に設置が完了する。また、市東部地域の利便性向上を図るため、令和4年10月に阪神御影駅前バスロータリーに新規設置した。

令和5年度は、自動定期券発売機を新規設置・拡充することで、更なるサービスの利便性向上を図る。

【設置予定駅】

- ・新規設置：2台（設置候補－JR 六甲道駅・阪急六甲駅周辺）
- ・拡充：1台（阪神御影駅周辺）

(2) インバウンドを見据えたクレジットカードタッチ決済の対応検討

神戸空港の国際化対応や大阪・関西万博の開催などによるインバウンド増加も見据え、地下鉄改札機でのクレジットカードやQRコードによる決済の導入に向けたシステム開発を行う。

なお、取組みにあたっては、外国人観光客が神戸の街を快適に周遊いただくために、令和4年11月に設置された「関西 MaaS 協議会」とも連携していく。

(3) 地下鉄ポイントサービスの導入

より便利なサービスとして、また IC 化率の向上を目的に、令和6年度中に IC カードを活用した地下鉄ポイントサービスを導入することを目指して、システム開発を行う。

導入にあたっては、地下鉄の乗車券や割引サービスの在り方を総合的に見直し、分かりやすく使いやすいサービスへと再編を図るとともに、他の民間交通事業者とのシームレスな連携を行っていく。

(検討の方向性)

- ・回数券、New U ラインカード⇒地下鉄ポイントサービスへの移行
- ・地下鉄磁気定期券⇒IC 定期券への移行
- ・共通ポイントの導入
- ・利便性の高い新たなサービスの導入

(4) 市バスポイントサービスの運用

令和3年4月から市バスにおける乗車ポイントサービスを開始しており、ご利用額に応じたポイントを市バス・山陽バスの乗車時にご利用いただける制度として引き続き運用するとともに、さらなる周知に努めていく。

(5) お客様サービス・接遇の向上

市バスでは、お客様から寄せられるサービス・接遇に関するご意見やご要望を分析し、市バス各営業所間で情報共有するとともに、対応を協議検討し、市バス全乗務員に周知する。また、乗務員研修等で、自動車運転士ハンドブックにもとづいた接遇教育を行う。さらに、管理職による添乗調査の結果に基づいた個別指導を強化するとともに、優良運転士には、表彰制度（グッドドライバー賞）や「サンキューカード」の交付によりモチベーションアップを図る。

地下鉄では、市バスと同様にお客様からのご意見等を逐次共有して改善に生かすとともに、外部講師による接遇研修、定期教育訓練における接遇研修を引き続き実施し、市バス・地下鉄とも一層のサービス・接遇の向上を図る。

(6) 地下鉄駅出入口への大型サイン（ロゴマーク）設置

地下鉄駅の地上出入口に、デザイン性にも配慮した共通デザインの大型サインを設置することで、駅の出入口をわかりやすくし、利便性の向上を図る。

令和3年度より整備を開始しており、令和5年度中の完成に向けて引き続き設置工事を進める。

(7) バスの行先表示やバス停名の改善

観光のお客様や不案内なお客様にとっても分かりやすい案内表示とするために、知名度が高い施設や地名を使用した行先表示やバス停名への変更を進めていく。

【停留所名称の変更】

変更前	変更後	バス停が所在する路線名
中之島	県立兵庫津ミュージアム前	3系統

(8) ホームページのリニューアル

お客様にとって、わかりやすく、アクセスしやすい案内の充実や情報発信を行うため、サイト構成を見直し、使い勝手・使い心地の良いホームページへリニューアルする。

「Urban Innovation KOBE」を活用した実証実験の結果を踏まえ、乗換案内や運行ダイヤなど、多くのお客様が求める情報に簡単に早くアクセスできるように改善することで、お客様満足度をさらに高め、市バス・地下鉄の利用促進を図る。

3. 「市民の足」の確保

1,099,139千円

≪「市民の足」の確保・維持／もっと乗っていただける公営交通の実現≫

(1) 『実証実験 三宮・エリア110』の継続

都心の回遊性向上及び市バス乗車機会の拡大を目的に、三宮都心部において、エリア内の市バスをICカードでご乗車いただいた場合に、大人料金を半額の110円に割引する「実証実験 三宮・エリア110」を令和5年度も継続実施する。

(目標利用人数：令和6年度までに年間26万人(1日あたり700人)のご利用)
より多くの方にご利用いただけるよう、ビジネス利用者や若者といったターゲットの利用シーンに応じた広報戦略を展開する。

(2) 海岸線中学生以下無料化の本格実施

既設インフラの有効活用による地域活性化及び沿線地域への若年世代・子育て世帯の交流・流入・定住促進による乗客増を目的として、平成29年7月より実施している地下鉄海岸線中学生以下無料化社会実験について、令和5年度から本格実施に移行する。また、マイナンバーカードを活用し、自宅でも申込できる仕組みを構築し、さらなる利便性を向上する。

(3) お客様の意見の積極的な収集

市バスホームページのお問合せフォームにアクセスできる「QRコード」を主要停留所や車内に設置している「お客様の声ハガキ」に掲出し、積極的に意見や要望を募る。さらに、いただいた意見やご要望を活用し、サービスの充実を図る。

(4) 2タッチデータを活用した試験運行

令和4年7月に開設した中央区役所・中央文化センターへのアクセス向上に関する若菜・二宮地区の地域団体からの要望を受けて、「国香通5丁目」を通るルートでの試験運行を実施する。

なお、試験運行後、乗降データでのご利用状況を踏まえて以降の運行について検討を行う。

(5) バス路線の変更等

系統	運行区間	内容	備考
7	神戸駅前～市民福祉交流センター前	「三宮駅前(東行)」バス停の廃止	三宮再整備事業に伴う変更
18	JR六甲道～三宮駅前(三宮駅ターミナル前)	復路終点バス停を「三宮駅前」から「地下鉄三宮駅前」に変更	
25	森林植物園前～三宮駅前(三宮駅ターミナル前)	復路終点バス停を「三宮駅前」から「センター街東口(南行)」に変更	
64	神戸北町～三宮駅前(三宮駅ターミナル前)	復路終点バス停を「三宮駅前」から「地下鉄三宮駅前」に変更	

(6) 摩耶山(まやビューライン)・六甲山(六甲ケーブル)等への輸送力強化

令和3年度から運行を開始した三宮駅ターミナル前から摩耶ケーブル下までの急行便、JR六甲道から六甲ケーブル下までの急行便を引き続き運行する。

系統	運行区間	内容	備考
18系統急行便	三宮駅ターミナル前～地下鉄三宮駅前～新神戸駅前～摩耶ケーブル下	三宮から摩耶ケーブル下までの急行バスをまやビューラインの運行に合わせて運行し、摩耶山への観光客のアクセスの利便性向上を図る。 金土休：往路5本、復路3本(予定)	令和5年4月28日～5月7日、7月22日

106 系統 急行便	JR 六甲道～阪急六甲～六甲ケーブル下	JR 六甲道、阪急六甲から六甲ケーブル下への急行バスを運行し、六甲山への観光客のアクセスの利便性向上を図る。 平土休：往路 11 本、復路多客時運行（予定）	～11 月 26 日
---------------	---------------------	---	---------------

(7) エコファミリー制度、エコショッピング制度の継続

マイカー利用から公営交通利用への転換促進と子育て支援を図るため、土・日・祝日、夏季期間、年末年始に大人が同伴する小学生以下の料金を 2 人まで無料にするエコファミリー制度を引き続き実施する。

また、市バスまたは地下鉄を利用して提携した店舗や施設での催し等に出かけていただいたお客様に割引などのサービスを提供するエコショッピング制度についても引き続き実施する。

4. 神戸のまちづくりへの貢献

5,492,378 千円

《公営交通としてまちづくりに貢献／市バス・地下鉄の連携、シームレス化》

(1) 市内公共交通サービスのシームレス化の推進

市バス普通区 IC 定期券について、普通区内の神姫バスおよび PortLoop との共通利用を引き続き実施するとともに、市バスで実施している乗継割引制度の神姫バスへの導入に向けた協議・検討を進め、市内公共交通サービスのシームレス化を推進することで、市民サービスの向上を図る。

(2) 誰もが利用しやすいバス停の整備

高齢者や障がい者をはじめ、誰もが安心して移動できる環境を作るため、まちづくりの視点から、バス利用者だけでなく誰もがバス停施設を利用できるようにし、街路景観にも配慮しながら、一般会計からの支援を受けてベンチ・上屋を整備していく。

【令和 5 年度予定】

ベンチ：150 ケ所／年程度《R5 年度～R7 年度》

上 屋：5 ケ所／年程度《R5 年度～R7 年度》

(特に良好な街路景観を求められるシンボルロードを中心に約 15 ケ所を整備予定)

(3) 地下鉄駅構内の美装化・改善

① 駅舎特別清掃(壁面・床等のクリーニング)

駅は神戸のまちの玄関口であることから、駅を明るくきれいにすることで地下鉄沿線地域の価値を高め、魅力的な駅空間としていくために、開業以来対応できていない場所や汚れについて一般会計からの支援を受けて特別清掃を全駅で実施する。

②駅トイレのイメージアップ改修

お客様の利便性・快適性向上のため、西神・山手線において、トイレの内装改修を実施する。また、海岸線を含めた全駅において、現在ある和式便器をすべて洋式便器に置き換えるとともに、温水洗浄便座を設置する。

③内照式広告のLED化

駅の内照式広告のLED化を行うことで、駅構内の照度アップによる明るい駅舎を実現するとともに、広告価値の向上や電気代の削減に取り組む。なお、空き広告枠には市政広告を掲載し、イメージアップを図っていく。

(4) 西神・山手線拠点駅（名谷・西神中央・新長田・三宮・板宿）のリノベーション

①名谷駅ビルのリニューアル及び拡充

「リノベーション・神戸」の一環として、名谷駅ビルのリニューアルにあわせ、駅北側の隣接するスペースに新たな駅ビル北館を整備し、テナント再編等による魅力的な利便施設（「tete 名谷」）の拡充に取り組む。

また、駅前のバスターミナルは駅や沿道の商業施設のご利用者等、多くの人が行き交うため、バス停上屋を拡張することで歩行者空間の高質化を図る。

令和5年度：「tete 名谷」北ゾーンオープン、
既存駅ビルリニューアル工事着工
バスロータリー上屋工事着工

令和6年度：既存駅ビルリニューアル完成

令和7年度：バスロータリー上屋完成

②西神中央駅リニューアル

西区の中心かつ玄関口として、成熟した街・落ち着いた雰囲気醸成を図るため、令和7年3月の完成に向けて、駅構内のデザイン改修の設計を実施する。

③新長田駅リニューアル

西神・山手線のテーマカラーである「緑」を要所に配置したデザインで、従来の暗い駅空間のイメージを一新し、未来的で明るい駅空間に変えていく。令和6年3月の完成に向けて工事を進める。

④三宮駅東コンコースリニューアル

都心三宮再整備事業および「さんちか」のリニューアルに合わせて、西神・山手線三宮駅東コンコースのデザイン改修・トイレのリニューアル（スペース拡大・機能向上等）を令和5年度から令和6年度夏頃にかけて工事を行い、都心三宮の拠点駅としての魅力向上を図る。

⑤板宿駅リニューアル

開業から 45 年を経て駅施設の老朽化が進んでおり、山陽電鉄との乗換え駅でもある板宿駅についてリニューアルを行う。現在、デザイン案を市民投票いただく準備を進めており、令和 7 年度末の完成を目指して進めていく。

(5) FCバス（燃料電池バス）の運行

水素スマートシティ神戸構想を掲げているなか、水素社会の推進に貢献するため、CO₂や環境負荷物質を排出しないクリーンなFCバス（燃料電池バス）を導入した。

令和 5 年 4 月より 7 系統（神戸駅前～市民福祉交流センター前）等での運行を予定している。併せて、イベントの実施や車内での動画放映等により、市民への周知を図る。

(6) 西神車庫用地の利活用

北神線の市営化による現在の 3 車庫体制（名谷、西神、谷上）について、車庫運用の最適化等により名谷、谷上の 2 車庫体制とする。今後、廃止する西神車庫用地の一部を有効活用して、西神中央エリアの活性化を図り、リノベーション神戸を推進していく。

令和 4 年度においては、サウンディング調査等を開始し、令和 5 年度は、土地利用計画の策定を行うとともに、車庫縮小に伴う鉄道施設改修の設計を進める。

- ・令和 7 年度当初：西神車庫の廃止
- ・令和 8 年度以降：利活用の実施

(7) 伊川谷用地の利活用

伊川谷エリアの活性化に寄与するため、人口誘引施策として伊川谷駅南側の所管用地の活用方法を見直し、集合住宅等の誘致を検討する。

- ・令和 5 年度：都市計画変更、事業者公募、選定
- ・令和 6 年度以降：選定事業者による設計・工事着工

(8) 海岸線の集客増対策や地域活性化への貢献

沿線に人が集まり、地域が元気になるよう、地域の活性化や応援を図る取り組みを他部局や地域のキーマンと連携して実施し、乗客増につなげる。

また、兵庫津ミュージアムのグランドオープンやこども家庭センター・こべっこランドの移転・オープン、外来生物展示センターのオープンによる新たな人の動きに呼応して、ふさわしい駅の雰囲気づくりを進めていくとともに、企画乗車券の発売やイベントなど連携事業を実施し、海岸線の魅力向上とPRを図る。

(9) 北神地域活性化への貢献

谷上駅周辺の店舗や神戸電鉄との連携を一層深めていくことで、谷上駅の拠点化、北神地域の活性化に貢献していく。乗車券と地域の飲食店や施設で利用できる金券・優待券がセットになった「有馬グルメ&湯けむりチケット」「有馬温泉太閤の湯クーポン」等企画乗車券の発売のほか、ハイキング等イベントの実施により北神地域と神戸市街地との交流を促進する。

《次世代を支える人材の確保・育成／安定的な経営を支える基盤の構築》**(1) 経営情報の発信**

新型コロナウイルス感染症拡大によってご利用人数が大幅に減少しているなか、より市バス・地下鉄を利用いただくため、情報発信の充実に向けて検討を行い、令和4年度より交通局の経営状況や取り組みをわかりやすく伝える「交通局レポート」の発行を始めている。今後、市民・利用者のご意見等を踏まえ、市民目線で情報発信に関する工夫を行っていく。

(2) ご利用状況の見える化

市バスのダイヤについては市民と共に考えていくことが重要であることから、客観的なご利用状況を広く市民と共有するために、市バス1便ごとの平均車内人数や停留所ごとの乗降人数がわかるデータサイトをホームページに公表し、引き続きご利用状況の周知を進めていく。

(3) 市バス IC カード 2 タッチ化による乗降データの活用とデータに基づく持続可能な路線バス網の構築に向けた取り組み

市バス IC カード 2 タッチ化によって得られた乗降データを活用して、令和3年度に策定した「データに基づく持続可能な路線バス網の構築に関する基本的な考え方」に基づき、新長田バスロータリーの整備に伴う新長田駅を中心としたバス路線の再編など、より多くの方にご利用いただけるような効率的・効果的なバス路線やダイヤとなるよう検討を進めていく。

(4) 女性運転士の採用

女性運転士を積極的に採用していくため、女性限定の募集や女性採用枠を創設する。また、より多くの女性にご応募いただくために市バス営業所内に女性専用の休憩室スペースを改修している取組みや短時間勤務制度、出産・育児の両立を応援する各種制度があることなどを採用ホームページや職場見学会、就職説明会等の場で積極的に広報していく。

(5) 将来の公営交通を担う人材の確保・育成

将来の公営交通事業の中核を担う職員の人材登用として、令和4年度より交通事業に専属で従事する一般行政職員の採用を開始しており、令和5年度も引き続き募集を行う。また、市民の足として安定的な運行を継続していくため、安全意識やサービス向上を目的とした研修や、現場の管理監督業務に従事する職員を対象とした研修などに取り組む。

(6) 付帯事業収入の拡大

広告料収入の拡大や駅舎のイメージアップに向けて、乗客数の多い三宮駅において、駅施設のリニューアル工事にあわせてデジタルサイネージを設置する。令和5年度は1番線ホーム（新神戸・谷上方面）に柱サイネージの設置を行う。

また、コロナ禍で厳しい状況にある駅構内店舗について、新たな事業者の公募を実施し、駅の利便性を確保していく。

(7) 乗客増加対策の推進

民間事業者と連携した利便性向上策など、新たな乗客増加対策を検討・実施するとともに、引き続き、沿線地域の企業や店舗と連携したイベントの実施など乗客増加対策を実施・検討する。

- ・市街地中心部における移動利便性の向上策（三宮・エリア110）の実施（再掲）
- ・地下鉄ポイントサービス導入による利便性の向上（再掲）
- ・摩耶山・六甲山等への輸送力強化のための急行バスの運行（再掲）
- ・海岸線及び北神線の乗客増対策の実施（再掲）
- ・拠点駅のリノベーションや保有用地の利活用（再掲）
- ・スマホアプリを活用した乗車券やイベントの実施
- ・スタンプラリーや謎解き等沿線地域への周遊性を持たせたイベントの開催
- ・アニメやゲーム等民間コンテンツとタイアップした SNS キャンペーン 等
- ・沿線スポーツチームと連携した企画の実施

(8) 市バス・地下鉄のダイヤ調整

市バスでは、ICカード2タッチ化による乗降データを活用して、運行状況に即した一部ダイヤ調整を行う。地下鉄では、令和5年8月に谷上車庫を休止させることに伴う列車の運用変更に合わせて、ラッシュ時間の混雑緩和や一部の列車の運行区間を変更する。

(9) 市バス営業所の管理委託の継続

市バス事業における経営改善策として営業所の管理委託を継続する。中央南営業所について、改めて提案競技を実施し、令和5年8月からの次期受託事業者を選定する。

(現在の委託状況)

委託営業所	受託事業者	期間
魚崎営業所	阪急バス(株)	令和4年度～令和8年度
松原営業所	阪急バス(株)	令和4年度～令和8年度
落合営業所	神姫バス(株)	令和4年度～令和8年度
西神営業所	神姫バス(株)	令和4年度～令和8年度
中央南営業所	神姫バス(株)	平成30年度～令和5年7月
清水が丘営業所	山陽バス(株)	令和2年度～令和6年度